

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表： 2024年 2月29日

事業所名：いまきいれ子ども発達支援センターまある

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・行事の時は参加者が多いとスペースが狭く感染対策が難しくなるため人数調整を行っている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・常に環境整備を行い、定期的に点検を行っている。	・親子通園のため人数が多い時があり、環境的に配慮した対応を今後も継続していきます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・定期的にカンファレンスを実施。個別支援会議を利用しスタッフ間での情報共有を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・定期的に評価を行い保護者の意向を確認し業務改善を行っている。	実際には行っていますが、職員間で周知されていない点があり今後の改善事項であります。カンファレンスなどを見直しを行い職員間の情報共有を図っていきます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・事業所内の連絡掲示板に公開している。	3月中に法人のホームページで公表します。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・年1回、第三者を招いて意見を聴く機会を設けている。	実際には行っていますが、職員間で周知されていない点があり今後の改善事項であります。カンファレンスなどを見直しを行い職員間の情報共有を図っていきます
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・全職員の能力や経験値に合わせての研修を随時設けている。 ・経験年数に応じた研修や療育についての研修を実施している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・職員同士で会議を行い分析し作成している。 ・朝礼後職員が参加し担当者と意見交換をしている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・遠城寺式発達検査を行っているが行動のアセスメントツールは使っていない。	今後M-CHAT等も取り入れ、標準化されたアセスメントツールを取り入れ、質の向上を図っていきます。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・設定している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・適切な支援となるよう職員間で情報共有を図っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・職員会議内で活動内容の検討・立案を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・作成している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・反省会の時間の確保が難しい時がある。気になる点はその都度話しができています。 ・共有し支援の見直しや改善を行い質の向上を図っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・各クラスの支援内容の反省会等をしている。	
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・主に児発管が参画している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・定期的に会議を計画し、支援の共有を図っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・療育機関との連携を図っている。 ・2か月に1回、関係機関との連携会議を実施している。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	・現在就学前の児が不在のため小学校等との連携は図っていないが、作業療法士協会の委員としての情報収集や連携を図っている。	今後も作業療法士協会委員として学校との情報収集及び連携を図っていきます。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・他センターとは会議を通して、他事業所には公開研修を年3回実施。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・現在は感染状況など考慮し機会は設けていない。今後は検討していく。 ・年に3回、子育てひろばを実施。地域の子ども連との交流を行った。	来年度は感染等の状況に応じて、保育園との交流を検討していきます。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・支援する児の年齢が低いためペアレントトレーニング等は難しいが、年齢や個性に応じた家族支援は実施している。 ・ペアトレは実施していないが、実施するための研修を職員全員は受けている。		
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・丁寧な説明を行うよう努めている。		
33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・内容によっては他スタッフと話し合い、それを後で保護者に伝えている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・定期的(月1回)にお保護者同士の相談会を実施している。	・今後保護者会等は検討していきますが、利用児が低年齢層の保護者のため難しさがあります。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・親子通園のため相談には迅速に対応し、保護者に不安が残らないように対応している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・会報を年6回発行。毎月の日程表の中に活動内容や面談、モニタリングなど必要な情報を発信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		定期的に研修も実施し、注意喚起を行っている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・地域企業と協同企画した催しを実施。 ・第3者委員を行事に招き、地域住民への子育てひろば(相談会)も開催。	
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・避難経路の説明等行っている。 ・全てのマニュアルは策定し職員には周知している。保護者への周知は不十分な点あるため今後改善していく。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・月一回の災害訓練を実施している。 ・月に一回災害を想定してスタッフ全員で経路確認を実施。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・通園前に園児表(児や家族・生活・親の願い等)の中に服薬などの情報確認を実施。医療との連携も図っている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・食札等用いて周知している。 ・配膳プレートの色分けをし、食事内容のカード提示で工夫している。 ・直接的な医師の指示書は無いが情報の共有や連携は図っている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・事例集の作成はまだ不十分である。 ・職員間で共有し周知はしている。	今後、事例集の内容の充実を図ってきたいと思います。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・年間計画を立て研修を実施している。 ・動画配信などを利用して研修を実施。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・現在身体拘束を行う必要性のある児がいない。必要性のある児がいた際は丁寧な対応や配慮、計画への記載は行う予定である。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)